

医療情報管理学

責任者：助川 樹良
学年・学期：第1学年・後期

単位数：1単位(15時間)

◆一般目標(GIO)

医療現場で取り扱われるさまざまな情報の種類と内容について理解し、安全に管理するための方法論を学ぶ。電子化された情報を取り扱う上で必要な基礎知識とIT化の進む医療現場において必要とされるコンピュータ(ハードウェア・ソフトウェア)およびネットワークに関する知識を習得する。

◆到達目標(SBOs)

1. 医療情報とその特異性について説明できる。
2. 情報の支配法則について説明できる。
3. コンピュータの基本構造と動作原理について理解している。
4. オーダリングシステムについて説明できる。
5. 部門システムと自動化、標準化の関連性について説明できる。
6. 情報通信の基本事項(LAN, プロトコルなど)が説明できる。
7. 電子カルテの仕組みと電子媒体保存の3条件が説明できる。
8. 電子保存に関するセキュリティ、個人情報の保護について説明できる。

チェック

--	--

◆学習方法

学生は、上記目標が達成できるように、自分の理解力を絶えず確認しながら授業に積極的に参加させる。授業方法は講義形式により、理解度の確認と講義内容の定着のために必要に応じて小テスト等を行う。

◆評価方法

総括試験、授業態度、出席状況により評価する。

◆教科書

臨床検査学講座『情報科学』 松戸 隆之 著 医歯薬出版(株)

◆参考書

◆講義内容

回数	項目	講義内容	担当
1	情報科学の基礎Ⅰ	情報とは何か、医療情報の特異性 情報理論の基礎	助川
2	情報科学の基礎Ⅱ	コンピュータの情報表現、論理演算	〃
3	ハードウェア	コンピュータの基本構造と動作原理 コンピュータの種類	〃
4	ソフトウェア	プログラム言語、オペレーティングシステム アプリケーションソフトウェア	〃
5	システム	システム導入の手順、フローチャート	〃
6	コンピュータネットワーク	ネットワークの接続、TCP/IP、 インターネット	〃
7	医療情報システムⅠ	病院情報システムの概要 オーダエントリシステム	〃
8	医療情報システムⅡ	電子カルテ、部門システム、 医療情報の標準化	〃
9	情報セキュリティ	医療情報の保護とプライバシー セキュリティの確保	〃
10	総まとめ		〃

◆講義の特徴

情報伝達、管理のための基礎理論と電子カルテシステムの理解を中心とした講義内容としている。コンピュータを使って処理された情報は、正確に伝達されるはずだが、医療の現場でさまざまな問題が生じるのは、それを扱う個人個人の情報に関する理解不足に起因するものが少なくない。本講義では、人間はなかなか正確に情報を把握できないことを理解し、情報伝達がいかに難しいものかを実感する。そのことをふまえた上で、電子化された情報を共有し、効率的にしかも誤りのないように情報を取り扱い、有効活用するための基本姿勢を学ぶことを課題としている。